

基本的な流れ（PC 版）

- 1、ソフトをインストールしていない場合は、インストールしてください。
インストール済みの場合は、アンインストールしてから
インストールしてください。
USB,SD,MicroSD の Setup フォルダにあります。
- 2、P C に USB や SD、MicroSD カードを挿します。
ソフトを使用中は、カードを挿したままにしておきます。
- 3、ソフトを起動します。
初期起動時は、“ユーザ登録されていません。”と
メッセージが出ます。
- 4、システム条件 1 にて、ライセンスカードのドライブを指定します。
- 5、「システム条件 2」にて、データ保存先のフォルダを指定します。
- 6、「新規現場 作成」又は「現場を開く」を選択
データフォルダをお送りしたカードの DATA フォルダ に設定した場合、
” サンプルデータ” という現場があります。
一覧から、サンプルデータをタップ。
OK ボタンを押す。
インストール先のフォルダにも、現場データがあります。
- 7、「観測・計算」をタップ

8、条件メニューから[TS 条件] を選択し、 使用している TS を一覧から選択します。

ケーブル接続や、外部 Bluetooth アダプタを使用している場合は通信設定(ボーレート等)を同じにします。

ポートの番号を COM の番号と同じにします。

PC に内臓の Bluetooth を使用する場合は、ポートの番号を COM の番号と同じにします。

TS 条件

通信設定

ポート 5 パリティ N

ボーレート 9600 データ 8

フロー制御 なし ストップ 1

☒ チェックサム タイムアウト: 10

☒ ターゲットを設定 ウェイト: 300

☒ 連続測距しないITS

☐ P-in システムを使用 ☒ SRX-X 以降

測量機

ソキア・トプコン(モーター機)

詳細 P-in OK

- 9、メニューの「計算」をタップし
一覧から、「放射トラバース」を選択。
器械点、後視点をプロット画面の点をタップして選択
タップした、器械点、後視点が結線されます。
又は、登録されている点名を入力します。
IH,FH を測定し入力します。(標高の計算をする場合)
入力確定は、**Enter** キーです。
- 10、[BS]ボタンが有効になります。
TS で、後視点を視準します。
- 11、[BS]ボタンを押します。
ここで、ケーブルが繋がっていない場合や、ミラーを視準していない場合、
暫くしてから”タイムアウトエラー”と表示されます。
- 12、測量機と正常に通信できていれば
測量機と同じ水平角と鉛直角が画面に表示されます。
(TS 側は、何も操作しません。視準するだけです)
- 13、データが取得できると「測定」ボタンが有効になります。
視準点名を入力します。
FH を測定し、入力します。(標高の計算をする場合)
- 14、ミラーを視準して、「測定」ボタンを押します。
- 15、測量機は測距を開始します。
- 16、測距の終了後に水平角、鉛直角、斜距離が画面に表示されます。
同時に、プロット表示されます。
- 17、視準点名、確認して、間違いない場合は
「登録」ボタンを押します。
「登録」ボタンを押すと記録簿に測定結果を保存します。
APA ファイルにも保存されます。

18、次の、点を視準して「測定」ボタンを押します。

上記の13～17 上記の13～17の繰り返しです。

14で、「登録」ボタンを押すと測距と登録を一度に行います。

杭打ちの場合

14、プロット画面から杭打ち点を指示します。

15、杭打ち点への水平角と距離が表示されます。

16、測量機を回転して、角度を合わせます。

17、ミラーを視準して、「測定」ボタンを押します。

18、測量機は、測距を開始します。

19、測距の終了後、画面に水平角、距離が表示されます。
同時に、プロット表示されます。

20、左右、前後の案内が表示されます。
ミラーを移動します。

21、17から20の繰り返し。

22、「登録」ボタンを押すと記録簿に測定結果を保存します。

対回観測オプション

説明書は、下記のページの

Tuikai_OP.lzh をご覧ください。

<http://a-survey.d.doou.jp/page072.html>